

わいがやサロン 通信



2014.10

第三回

門前まち花遊歩

牛に引かれて善光寺参り 開催報告



十月五日(日)、
台風の影響が心配

される中、今年三回目となる「門前まち花遊歩く牛に引かれて善光寺参り」を開催いたしました。午前中は激しく降っていた雨も、出発式にはびたりと止み、お気に入りの着物や思い出の着物を身にまとった五十四名の女性が、牛に引かれて善光寺までの道のりをゆつたりと散策しました。

TOiGO広場にて受付(午後十二時三〇分)、出発式(午後一時)では、市川浩一郎NUPRI理事長、来賓の加藤久雄・長野市長、北村正博・長野商工会議所会頭、若林健太・参議院議員より挨拶。進行役は鈴木隆治理事。

- 主催
NUPRI NPO法人 長野都市経営研究所
- 後援
長野市・善光寺・長野商工会議所、
中央通り活性化連絡協議会



それぞれに雨をしのいでいた参加者の皆さんが、出発式の時間に合わせてTOiGO広場に集まると、一気にその場が華やかな雰囲気になります。観光客の方や道行く人が足を止めて、雅な着物姿に見入っていました。

四月から着付教室に通い始めたという三十代の女性は、同じ教室に通う四十代の先輩と参加。「着崩れが心配なので、今日は先生に着付けてもらいましたが、次回参加するときは自分で着付けをしたい」と笑顔で話してくれました。教室の先生からプレゼントされたという着物は、紫を基調としたモダンな柄に猫のシルエツトがあしらわれ、古典柄とは違った良さが感じられました。



牝牛の杏花ちゃんに先導されて、一行はセントラルスクウェア隣の「長野オリンピックメモリアルパーク」へ。来年春の善光寺御開帳に向けて設置されたカウントダウンボードの除幕式に参加し、式に花を添



善光寺御開帳2015
カウントダウンボード除幕式



えました。
同日は「善光寺表参道秋まつり」も開催されていたため、中央通りは、いつも以上に賑わっており、大勢の皆さんに行列を見ていただくことができました。

山門に到着し、若麻績正宏善光寺法務局長より答礼をいただいたあと、プロカメラマンによる記念撮影。次に場所を大本願に移し、鷹司誓玉尼公上人からご法話をいただきました。今回は、日本の伝統文化である着物に親しむという催しにちなみ、お上人様が書籍も出版されている「伝統工芸『組紐』」について、その魅力や組紐師であり人間国宝の深見重助氏との出会い、さらには愛用の組台やお上人様御作の唐組平緒（からくみひらお）をあ

しらった抱え鞆などもご披露いただきました。
最後は、催しの感想や今後の課題についてワークショップを開催。五つのグループに分かれて意見を出し合い、代表の方に発表していただきました。

「プロのカメラマンに撮影してもらえて良かった」という感想や「各自の着物をお披露目する時間を設けたらどうか？」という提案「行列の誘導をもっとスムーズに」という厳しいご意見、また「開催頻度をもっと増やしたい」という前向きなご意見もいただきました。



鷹司誓玉尼公上人からのご法話



ワークショップ

次回の花遊歩は、善光寺御開帳に合わせて開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。